

都市再生整備計画(第3回変更)

あさひ うしなちく
旭・宇品地区

ひろしま ひろしまし
広島県 広島市

平成24年 3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	広島県	市町村名	広島市	地区名	旭・宇品地区	面積	430 ha
計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度				

目標

南区における生活中心「の候補地である旭地区・翠地区」を含む、旭・宇品地区において、地域住民の暮らしやコミュニティに配慮した、安全で潤いのある整った市街地を形成するまちづくりを推進する。

- 「生活中心」…第4次広島市基本計画において各論の1つである「潤いのある整った市街地の形成」を説明する中で示された概念。商業施設、金融機関などの日常生活に身近な生活関連サービス施設やコミュニティ施設が立地し、生活や交流の中心となる地区、あるいは、計画的にこうした中心を形成する地区をいう。
- ここでいう旭地区や翠地区は当該計画区域内に存する一部の地区である。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

旭・宇品地区は、広島市デルタ市街地の南東部に位置しており、都心部の発展に伴い、戦後、早くから市街化が進んだ地区である。

当該地区は、日常生活に身近な生活関連サービス施設が集積した生活中心の候補地である旭地区や翠地区が存するものの、都市計画道路など基本的な都市基盤施設の整備の遅れから、街区の形成が不十分である。それに加え、学校施設が多いことから通学等の自転車交通と歩行者交通のあつれきが見られたり、古くからの商店街活動が停滞するなど、生活環境に係る課題の多い地区である。

これまで、当該地区において、都市の骨格を形成する都市計画道路や公園などの整備を進めるとともに、都市計画道路霞庚午線の整備を生かした、地区住民によるまちづくり活動が進められているものの、生活中心としての都市機能を十分に発揮するには依然として不十分な状況である。

また、生活環境を構成する1つの要因である街区公園は、当該地区で19箇所整備されているが、行政主体の画一的な公園づくりや管理が行われている。

課題

当該地区は、生活中心の候補地である旭地区や翠地区があるものの、生活中心にふさわしい生活環境が整っていない状況である。

このため、都市の骨格を形成する都市計画道路の整備に加え、それを生かした交通施策の展開や、住民による主体的なまちづくり活動を誘導・支援し、生活中心としてのふさわしい都市機能の拡充を図る必要がある。

具体的には、旭地区と翠地区を連絡し、旭地区の街区を形成する霞庚午線や、これら両地区と周辺の主要交通施設(広島高速3号線宇品IC)との連絡強化を図り、宇品地区の街区を形成する中広宇品線を整備する必要がある。併せて、中広宇品線の幅の広い歩道において歩行者交通と自転車交通のあつれきを軽減させる路面表示を行うとともに、これらの都市計画道路の整備を前提とした、地区のまちづくり活動を支援する取り組みが必要である。

また、生活環境の向上を図るべく、生活環境を構成する1つの要因である街区公園について、現在の画一的な公園を、多様化する市民ニーズに応じた、魅力ある公園にする取り組みが必要である。

将来ビジョン(中長期)

広島市基本構想(平成10年6月)

都市像として「国際平和文化都市」を掲げ、広島のアイデンティティの形成(「共に生きる人づくり・まちづくり」、「個性と魅力ある都市ひろしまの創造」、「世界への展開と広域的な交流と連携の促進」)を掲げている。

第4次広島市基本計画(平成11年11月)

目標年次を平成22年(2010年)とし、広島のアイデンティティの形成を主導する7つの重点施策(市民主体の市政推進、平和首都広島の実現、環境を保全・創造する都市広島の実現、健やかで文化的に暮らせる都市広島の実現、こどもと若者をはくむ都市広島の実現、活力ある経済都市広島の実現、総合的な交通対策の推進)を定めており、その各論として、「潤いのある整った市街地の形成」を掲げており、生活や交流の中心となる地区等を生活中心として位置づけ、住民によるまちづくりを誘導・支援することにより、潤いのある整った市街地の形成を推進することとしている。

目標を定量化する指標

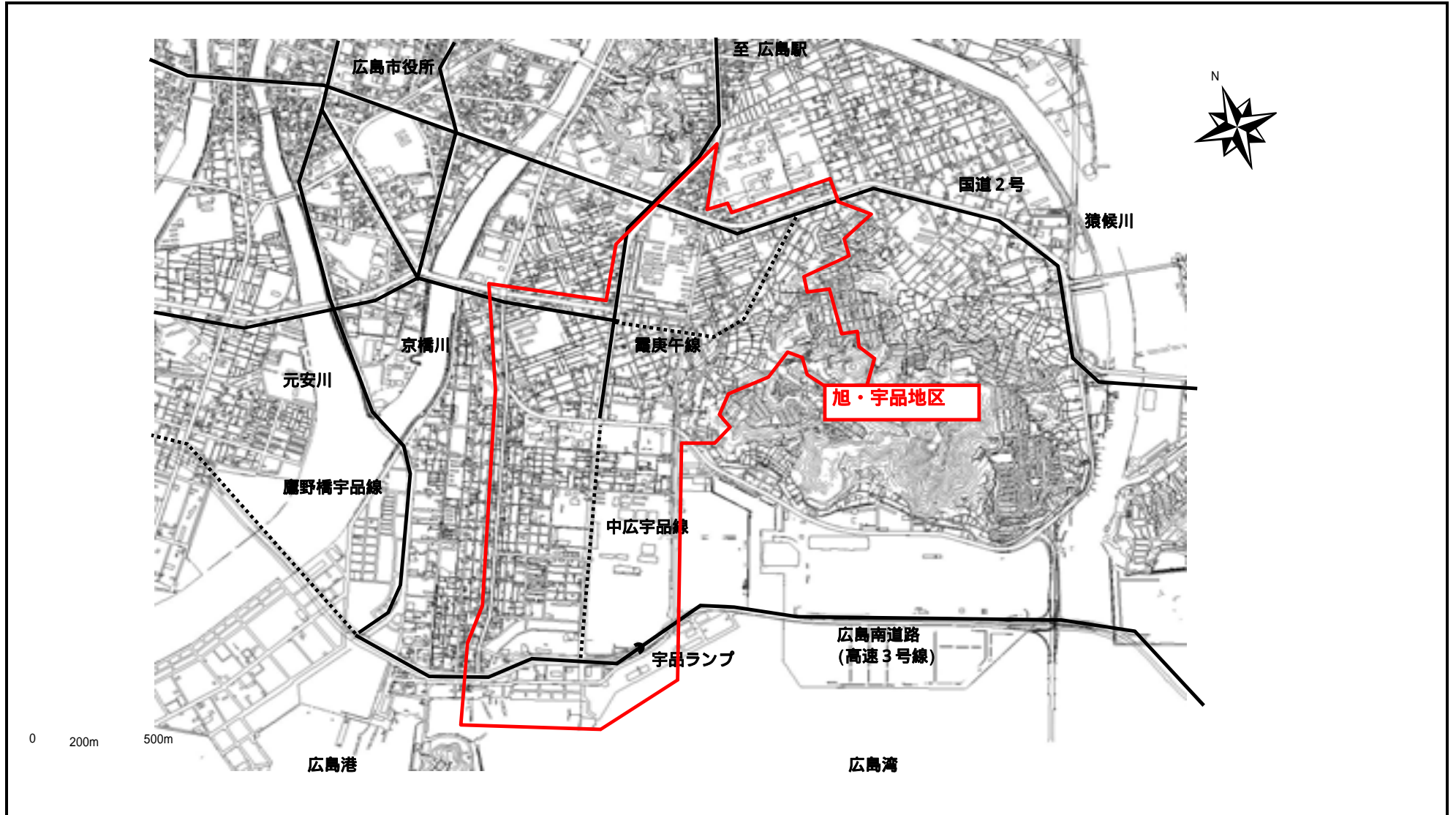
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
当該地区における都市計画道路の概成整備率	%	当該地区における都市計画道路の概成整備率(暫定整備を含む概成整備済み延長を計画延長で除したもの)	都市環境を定量的に把握するための指標。 計画最終年度である平成23年度に、9割完成(整備率90%)することを目標とする。	75%	H18	90% H23
旭・翠地区と広島高速3号線宇品IC間との自動車所要時間(短縮時間)	分	旭・翠地区の主要交差点(翠3丁目13交差点)と宇品ICとの間(L=約2km)の自動車による走行時間(休日ピーク時間帯)	都市機能の充実状況を定量的に把握するための指標。 計画最終年度である平成23年度に2割短縮することを目標とする。	10分	H18	8分 (2割短縮) H23
交通事故件数	件	当該地区(市管理の道路)における、交通事故件数	当該地区の安全性の向上を定量的に評価する指標。 計画最終年度である平成23年度に2割削減することを目標とする。	225件	H16	180件 (2割削減) H23
まちづくり活動・会合等の開催回数	回/年	大河地域まちづくり協議会の行うまちづくり活動や会合等の開催回数	当該地区のまちづくり活動を定量的に把握するための指標。 計画最終年度である平成23年度に6倍(年1回開催を2ヶ月に1回開催)に増加させることを目標とする。	1回/年	H18	6回/年 H23

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>旭・宇品地区において、地域住民の暮らしやコミュニティに配慮した、安全で潤いのある整った市街地を形成するまちづくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の連絡強化や街区形成、及び周辺の主要交通施設との連絡強化に資する都市計画道路を整備する。 ・これらの都市計画道路の整備を前提とした、地区住民が活動主体であるまちづくり協議会の活動を支援する。 ・幅の広い歩道内の歩行者交通と自転車交通のあつれきを軽減させる路面表示を行う。 ・身近な公園を多様化する市民ニーズに呼応した、魅力ある公園に再生する取り組みを進める。 	<p>【基幹事業】 (道路) 都市計画道路 霞庚午線 整備事業 都市計画道路 中広宇品線 整備事業</p> <p>【提案事業】 (まちづくり活動支援) 大河地域まちづくり協議会活動支援事業 身近な公園再生支援事業</p> <p>【関連事業】 (道路) 都市計画道路 中広宇品線</p>
<p>その他</p> <p>地元の熱意(地域団体によるまちづくりの活動) 大河地域まちづくり協議会の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大河地域まちづくり協議会」は、平成2年に発足し、都市計画道路霞庚午線の一部区間の暫定整備に合わせ、道路整備を生かしたまちづくりを行っていくこととしている。 ・広島旭商店街振興組合の活動 ・計画区域内の旭地区において、旭商店街振興組合は、平成13年度から「旭商店街アイビータウンテント村」を定期的で開催している。 ・これは、組合員と広島県世羅町の農家や女性グループ等が出店を行い、消費者との交流等を通じた「顔の見える商売」を実践し、来街者の増加を図るとともに、地域コミュニティの振興や商店街の活性化を図り、活気ある地域づくり及び賑わいを創出しようというものである。 <p>円滑な事業執行の環境(基幹事業の実現性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹事業である都市計画道路 霞庚午線、及び中広宇品線は、これまで、国土交通省の街路事業費補助等を受け、事業を進めてきており、事業の熟度が高い。 	

都市再生整備計画の区域

<p>旭・宇品地区(広島県広島市)</p>	<p>面積</p>	<p>430 ha</p>	<p>区域 旭一丁目～三丁目、西旭町、露二丁目、東露町、西露町、南大河町、北大河町、皆実町二丁目・四丁目～六丁目、出汐一丁目～四丁目、翠一丁目～五丁目、西翠町、宇品東一丁目～七丁目、宇品神田一丁目～五丁目、宇品御幸一丁目～五丁目、宇品海岸二丁目～三丁目、山城町</p>
-----------------------	-----------	---------------	--



旭・宇品地区(広島県広島市) 整備方針概要図

目標 旭・宇品地区において、地域住民の暮らしやコミュニティに配慮した、安全で潤いのある整った市街地を形成するまちづくりを推進する。	代表的な指標	当該地区における都市計画道路の概成整備率 (%)	75 (H18年度)	90 (H23年度)
		高速3号線宇品ICへの所要時間(短縮時間) (分)	10 (H18年度)	8(2割短縮) (H23年度)
		交通事故件数 (件)	225 (H16年度)	180(2割削減) (H23年度)
		まちづくり活動・会合等の開催回数 (回/年)	1 (H18年度)	6 (H23年度)

